

## 東郷湖・未来創造会議 イベント・コンテンツ開発チーム

### ◆検討結果

※「参加体験価値の高いイベント創造」「町民参加の共育・協働システムの構築」「その他」の柱で整理、集約する。

[□：アイデア、提言／■：指摘事項など]

### 【参加体験価値の高いイベント創造】

#### <イベント全般>

##### [既存イベントの充実]

- イベントと地元町民との交流をセット
  - ◇ 地元の人との交流、協力のあり方を工夫
- イベントを産業振興につながる時期に開催
  - ◇ イベントが重なってもよい／集中的に実施することも選択肢
- イベントを梨の時期に開催（梨のPR／梨狩り体験など）
- イベントを通じた特産品の販売促進、PR
- 特化される地域資源の活用（温泉／梨）
- 食とイベントとの連携
- 現行イベントの時期に合わせた特産品の開発（逆転の発想）
- イベントが多すぎる
- イベントの同時開催
- 町主催イベントが重なる時期はマンパワーが不足
- イベント日程の固定化（発祥地大会／フラダンス／ベテラン卓球など）
- 昔ほどイベントの時でも販売促進につながらない
- 梨の時期は地区の行事も多く、場合によっては参加しづらい
- 主催者の分散化が必要（負担の軽減）
- 実施主体に町民参加を推進（公募など／要請が限られた団体）、住民力のアップ
- 全国大会は始めることが大変。既存イベントの充実を
- 町民が観覧するための工夫が必要

#### <トライアスロン関係>

- 子ども／親子を対象としたトライアスロン競技の創設
- 宿泊できるシステムづくり
- トライアスロンは競技の性格上、時期が限定
- スケジュールなどの都合により、梨の時期の開催は困難

### <カヌー・ボート関係>

- カヌー体験＋宿泊＋学習ツアーの創設
- レジャー用としてカヌー、ボートの設置
- カヌー体験教室の開催（子ども／一般）
- 橋津川で手作りイカダ体験
  - ◇竹林の有効活用
  - ◇終われば廃棄／環境的な側面
- ドラゴンカヌー大会の河川での開催（両岸から応援／観覧）
- 専門的な知識が必要であり、カヌー協会の協力が必須
- 地元に普及していない
- 地元の子どもたちに体験させることから始めるべき⇒池への思いやりを育てる
- 「地元の子どもたちを対象とした体験」⇒「観光客を対象とした体験」へ発展させる
- 地元の人が体験していないのに観光客に提供できない
- 池から丘側を見る普段とは違った景色を活用するべき／東郷湖を見つめ直す機会

### <マラソン関係>

- 東郷湖マラソン大会の復活
- 東郷湖マラソン大会参加者を対象とした「温泉」「梨」観光イベントの開催（ポンポン船の活用、梨狩り、入浴、食事などを組み合わせ）
- 気軽にできる往復コースの設定
- 誰でも参加できるという競技の性格は魅力
- 周回道路に歩道が整備されれば、マラソン大会ができる環境が整う／ハード整備との連携

### <ウオーキング・サイクリング関係>

- 気軽に参加できるスタート地点の複数設定
- 休憩できる場所、スタート・ゴール地点の設定
- ウオーキング（観光）＋温泉入浴
- レンタサイクルショップの設置

### <イベント関係>

- イベント情報誌の配布
- 既存イベントの温泉などのオプションを付与
- スタンプラリーを開催し、応募者に町の特産品を送付
- 既存イベント後に地元との交流イベントを開催
- 小中学校と連携したイベント企画、実施
- ウオーキング、サイクリングと文化財、植物探訪、探索との組み合わせ
- ヘルシーオリエンテーリングの開催

- 「湯梨浜歴史デー」の開催
  - (歴史講演会／史跡めぐり／歴史上人物のコスプレ／ミュージカルなど)
- マンガサミットと関連付けたイベントの開催
  - (天女コスプレ／天女サミット／ミス・ミスター天女コンテストなど)
- 旅行会社との連携によるツアー造成（湯めぐりツアー、食ツアー、散策ツアーなど）
- 御冠山絶景ビュー展望散策
- 「縄文海進が創った貴重な潟湖」を大切に保護するための啓発イベントの開催
  - ◇トウテイランの自生地、古墳群との連携
- 「東郷湖一周を住民が手をつなぐ」イベントの開催
  - 一回のイベント形式では継続性がない。
- 「東郷湖一周ロケット花火」イベントの開催【環境保全の面からも削除】
- 東郷湖水泳大会の開催（汚くても泳げる）
- 東郷湖周辺の耕作放棄地を利用したイベントの開催
- 競技種目を決め、大学や高校のスポーツ合同合宿イベントを開催
- 四季を通じた「食」のイベントを開催（旬の特産品を食材に使用）
- 倭文神社（下照姫命：安産／織物の神様）と羽衣石（天女伝説）をつないだ女性のためのイベントを開催
- 女性と緋のコラボ「働く人のファッションショー」を開催
- 温泉の女性限定無料開放デー（イメージアップによる女性の集客）
- 温泉地への町民限定割引デー（地元還元による集客）
- 朝市の開催
  - ◇地元野菜などの販売、生産者への還元システムの構築
    - 地元の人を買わないようなところには観光客は行かない
- 郷土料理復活大作戦イベントの開催
  - ◇おばあちゃんに本物の郷土料理を作ってもらい、試食
- ポンポン船の復活
- 地域に根差した既存イベントの充実、宣伝（松崎三八市）
- 燕趙園の活用
  - ◇周辺にある地域資源との連携（野花豊後の花など）
  - ◇町民限定の割引デー（色々な情報が町民に伝わっていない）
  - ◇道の駅の有効活用
    - 地元の人が行きやすい環境整備が必要（地元産農産物、海産物など品揃えの充実）
    - 周辺に案内看板が必要
- 既存イベントを充実するため、地元の人への情報提供を
- イベントを一部の人だけの開催ではなく、町全体でもっと共有していけるよう関わり方、参加の仕方を考えることが必要
- 地元の人イベント情報を知らないことが多すぎる

### <イベント／梨関係>

- 「全国一の梨産地」（町の特色としてPR）とイベントとのリンク
- 全国から参加者があるハワイアンフェスティバルなどのイベントを梨の収穫時期に変更  
⇒梨の販売促進、知名度アップにつなげる
- 既存イベントと梨の作業や収穫体験をリンク

### <新規イベント関係>

- 東郷池まつり
  - ◇マラソン、ウォーキング、サイクリング、イベント、歴史解説、環境活動、食・・・様々な要素の活用、連携イベントづくり。⇒山、里、海の連携
  - ◇東郷池と「浜」の連携活用／泊の海産物
  - ◇既存のモノやコトなどを活かしながら、東郷池の周囲で分散開催。東郷池の魅力を集約する。ある程度の期間を視野。／東郷池週間、月間
  - ◇地域全体を活かすことが前提。東郷湖、梨、温泉、歴史資源・・・。  
地域資源をつなぎ合わせた新たなイベントの創造、或いは既存イベントの充実

### <サミット・シンポジウム関係>

- 潟湖サミットの開催
- シンポジウムの開催
  - ◇町出身者の外から見た東郷湖

### <体験プログラム関係>

- 都会の子どもたちをターゲットとした参加・宿泊型学習システム
  - ◇歴史・農業体験
  - ◇親子で参加する仕組みづくり
  - ◇地元の親子との交流イベント
- 都会の家族を呼んで宿泊体験
  - ◇地域との交流
  - ◇海、川、湖遊び
- 湖上温泉、露天風呂体験（東郷湖の中）
- 「カヤックの旅」体験（東郷湖／川）
- 各種体験
  - ◇舌つつみ体験
  - ◇みどり体験（グリーンツーリズム）
- さくら工芸品工房の体験教室を活用（女性の体験できる場の確保）

### <情報発信、宣伝関係>

- HPだけではなく、インターネットを活用した宣伝（ヤフーなど）
- 観光宣伝をもっと大きく
- 県内の主な観光施設にポスター

### 【町民参加の共育・協働システムの構築】

#### <自然景観・歴史文化関係>

- 東郷池の自然と歴史・文化遺産探訪ツアーの創設  
用途別：ウォーキング／サイクリング／車  
コース別：半日コース／1日コース  
参加者別：個人／団体／ツアー客
- 展示会・講演会の開催
  - ◇「全国御倉サミット in 湯梨浜」の開催（橋津藩倉）
  - ◇文化財里帰り展示・講演会（銅経筒／銅鐸／馬ノ山4号墳出土品／東郷荘絵図など）
- 野花豊後花まつりの開催
- 藩倉まつりの開催（骨董市／テレビ番組の誘致）
  - ◇昔を忍ぶ写真の展示
- 文化財など歴史資源の有効活用
  - ◇歴史探訪ツアー
- 埋もれている歴史・芸能の復活（赤とんぼ／葉茂し歌－橋津藩倉）
- 縄文海進マップの作成
- 地域の物語や伝説を題材にした舞台・演劇
- 地域の物語や伝説本を作成

#### <テーマごとのコースづくり関係>

- 季節ごとのツアーコースの選定
- 季節の花コースの選定（野花豊後／トウテイランなど）
- 健康コースの選定
- 体験コースの選定
- 歴史コースの選定
  - ◇東郷荘絵図実感コース
  - ◇下照姫命コース
  - ◇羽柴秀吉・吉川元春対峙コース
  - ◇歴史・文化財コース（古墳／仏像など）
  - ◇歴史上の人物、物語をめぐるコース
- 解説書、案内図、案内板の整備
- 古墳など歴史文化資源が整備されておらず気付きにくい

### <システム構築関係>

- 湯梨浜検定の開催
- 湯梨浜町の歴史・文化財検定の開催（小中学生用／大人用）
- ボランティアガイドの養成、システムづくり
- ゆりはま塾養成者の活用
- ボランティアガイドの登録制
- 文化財解説員の養成
- 住民主導で組織することも必要
- 養成後の活躍の場を確保することが必要
- 町職員に関心、興味がないことが問題（文化財／伝統文化など）－専門職の配置

### <NPO関係>

- NPO組織の育成に係る勉強会の開催

### <講演会関係>

- 協働推進講演会、勉強会
  - ◇ 協働とは何かを考える機運を醸成
  - ◇ 住民の参加意識の高揚
  - 提言だけでは、町は活性化しない
  - 町民から声が出て、町民が主体となる活動を大切に
  - 参加する人はいつも限られている
  - 町民からのアイデア、提言がないという下地がある
  - 成功例ができれば次に広がっていく

### 【その他／他のワーキングチーム関連】

- シジミ公園の整備（既存の公園の活用／エリア設定）
- 子育て支援プロジェクト「湯梨浜版」の整備
- 環境問題にもっと取り組み、町ぐるみでモデル地区
- ウオーキング、サイクリング道路の整備
- 温泉地内の道路の両側にバリアフリー型の歩道設置
- 湯治温泉場の建設
- 常時利用可能な足湯ポイントの増
- 案内板の整備（総合、個別）
  - ◇ イベント参加者に東郷湖周辺の名所（景観など）アンケートを取り、「ベスト〇〇」の紹介看板を設置
- 駐車場の確保
- トイレの設置

- 東郷湖周遊バスの運行
- よく見えるところに道の駅を建設
- 電気自動車充電スポットの整備
- お土産の開発
  - ◇藩倉の模型
  - ◇藩倉瓦せんべい
  - ◇経筒モナカ（アン：野花豊後／二十世紀梨など）
- 泊港の活用
  - ◇地元産の海産物販売店
  - ◇レストラン
- 魚を使ったイベント販売だけでなく、そこで食べることができる体制づくり
- シジミたまご
  - ◇ニワトリにシジミの殻を食べさせることで特化する
- シジミ料理（湯梨浜町に来ないと食べれない、味わえない）
- 東郷湖の「フナ」をブランド化
  - 旅行会社への計画的な売り込みが必要（旅行会社との連携による集客）
  - 何を売り込むのかを明確にする必要
  - 景観だけでなく、湖中の環境浄化に注意を向けるべき。見た目の「きれい」だけではダメ
  - TCCに防災の避難所が載っていない
  - 漁業権があっても、漁業組合の活動でシジミが守られていると思えばよい
  - アクセスが悪いのは、反対に考えれば「はるばる来たぜ感」が味わえる。ここしかないものがあれば大丈夫
  - 住んでいる私たちが水のきれいなこと、空気もいい、食べ物も安全、安心して暮らしやすいということを喜ばばよい
  - 道の駅の工夫が必要
  - 道の駅はわいの周辺や敷地内が汚い（草／ゴミなど）